

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	相 談 支 援 部 会
開 催 日 時	令和6年7月25日 ・ 17:00～18:30
記録担当委員	金塚 恵美子
<p><b>【協議概要】</b></p> <p>(委員自己紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児の支援を行っている。きらり発達支援センターにいる。発達の相談は年々増えている。放課後デイも行っている。ちょうど今の時間がデイの始まる時間帯で、天気などを気にしながらこの会に参加している。</li> <li>・高齢者の支援をしている。みなみ包括支援センターに所属している。小金井市には4か所の包括支援センターがある。高齢者の支援は資源としても割と充実しているのではないかと思う。</li> <li>・聴覚障害があるが、聴覚障害の方の相談支援をしている。しかし相談を求めてくる人は少ない。聞こえないことによって情報がいきわたらないことがある。情報の格差をどのように解消していくのかは今後考えるべき。</li> <li>・小金井肝炎の会の代表。治療法のない中で患者が集まり、赤十字病院の泉先生に支援をもらい啓もう活動を始め会員が増えて行った。ウィルス検診を受けることを勧めている。自治体の中で活動の活発さは100倍の違いがある。小金井は真ん中辺。</li> <li>・小金井社協で権利擁護事業、福祉総合窓口を担当している。権利擁護では金銭管理サービスを行っており、精神の方の利用が多い。成年後見制度利用促進も行っており、利用は増えている。家族全員が障害を持っていることや8050問題のケースも多い。包括的に相談できる場所として、いろんなところと連携して問題解決する形である。</li> <li>・4月から多摩府中保健所に異動してきた。地域保健対策課。精神や重度心身障害の方。アルコール薬物の相談、依存症、引きこもり、精神医療の見立てがまだの人などが担当になる。ケースが重いので関係機関と知恵を絞って支援を確認しながら行っている。</li> <li>・精神の方の支援を行っている。地域生活支援センターそらに所属。計画相談を担当しているがご家族が障害を持っている方もおり、児童だったり高齢だったり支援は別になる。障害が違うとわからないことも多い。連携の必要性を感じる。</li> </ul> <p>(事務局より)</p> <p>市が考えている課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市内に存在する計画相談事業所の減少</li> <li>② 精神障害にも対応した包括支援システムの検討</li> <li>③ 地域生活支援拠点について。地域体制の強化、共同支援加算について</li> </ol>	
<p><b>【次回の開催日程】</b></p> <p>令和6年8月29日（木）・17時から 前原暫定集会施設・B会議室</p>	